

ORICON

2011年3月期決算説明会

2011年5月18日

- 2011年3月期決算の概要
- 2012年3月期の見通し
- オリコングループのスマートフォン戦略について

2011年3月期決算の概要

- スマートフォン対応を明確な戦略のもと、積極的に推進。アプリの開発などに経営資源を投下。今後の収益の柱にするための布石を機動的かつ効果的に打つことができた。
- 業績においては、WEB広告販売と着うたフルが収益をけん引。スマートフォン対応に関わる費用を吸収し、過去最高益を計上。
- 個別業績において繰越欠損金を解消し、復配。

連結業績

売上高	:6,790百万円(前期比11.9%増)
営業利益	:1,222百万円(前期比52.6%増)
経常利益	:1,146百万円(前期比47.3%増)
当期純利益	: 796百万円(前期比137.0%増)

⇒いずれも、過去最高額を計上

連結損益計算書



(単位:百万円)	10年3月期	11年3月期	増減	
			金額	増減率
売上高	6,069 (100%)	6,790 (100%)	721	11.9%
売上原価	3,684 (60.7%)	3,919 (57.7%)	234	6.4%
差引売上総利益	2,384 (39.3%)	2,871 (42.3%)	486	20.4%
販管費	1,583 (26.1%)	1,648 (24.3%)	65	4.1%
営業利益	801 (13.2%)	1,222 (18.0%)	421	52.6%
経常利益	778 (12.8%)	1,146 (16.9%)	368	47.3%
税金等調整前 当期純利益	504 (8.3%)	1,109 (16.3%)	605	120.0%
当期純利益	336 (5.5%)	796 (11.7%)	460	137.0%

主な増収要因

- ・着うたフル[759百万円増(41.9%増)]
- ・WEB事業[124百万円増(13.5%増)]
- ・データサービス事業[51百万円増(8.6%増)]

主な減収要因

- ・着メロ[78百万円減(14.8%減)]
 - ・着うた[17百万円減(3.4%減)]
- ※東日本大震災による影響額:17百万円

粗利益率が3.0ポイント上昇した主な要因

- ・着うたフルの会員化が進み、月額定額売上の割合が上昇
- ・WEB事業で粗利益率の高い広告商品の比率が上昇

営業利益率が4.8ポイント上昇

スマートフォン対応に要した費用80百万円を吸収

前年同期には、投資有価証券評価損134百万円、貸倒引当金繰入額120百万円を特別損失として計上しましたが、当期にはその特殊要因がありませんでした。

当期までは、税効果会計の適用により、税務上発生した繰越欠損金が税金費用を抑え、法定実効税率より低くなりました。

通期業績予想数値に対する進捗



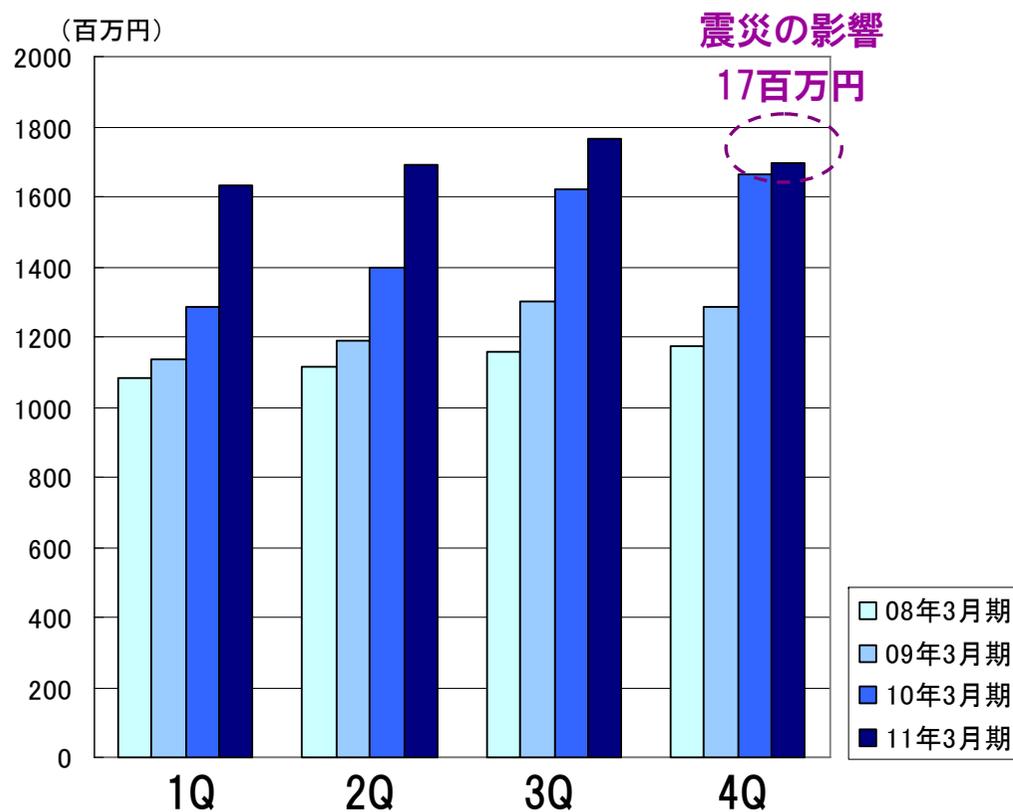
(単位:百万円)	期初予想値[A] (10年5月7日)		業績予想修正[B] (10年11月9日)		実績値[C]	進捗率[C/A]	進捗率[C/B]
売上高	7,060		7,060		6,790	96.2%	96.2%
営業利益	1,020	▶	1,220	▶	1,222	119.8%	100.2%
経常利益	940		1,150		1,146	121.9%	99.7%
当期純利益	650		780		796	122.5%	102.1%



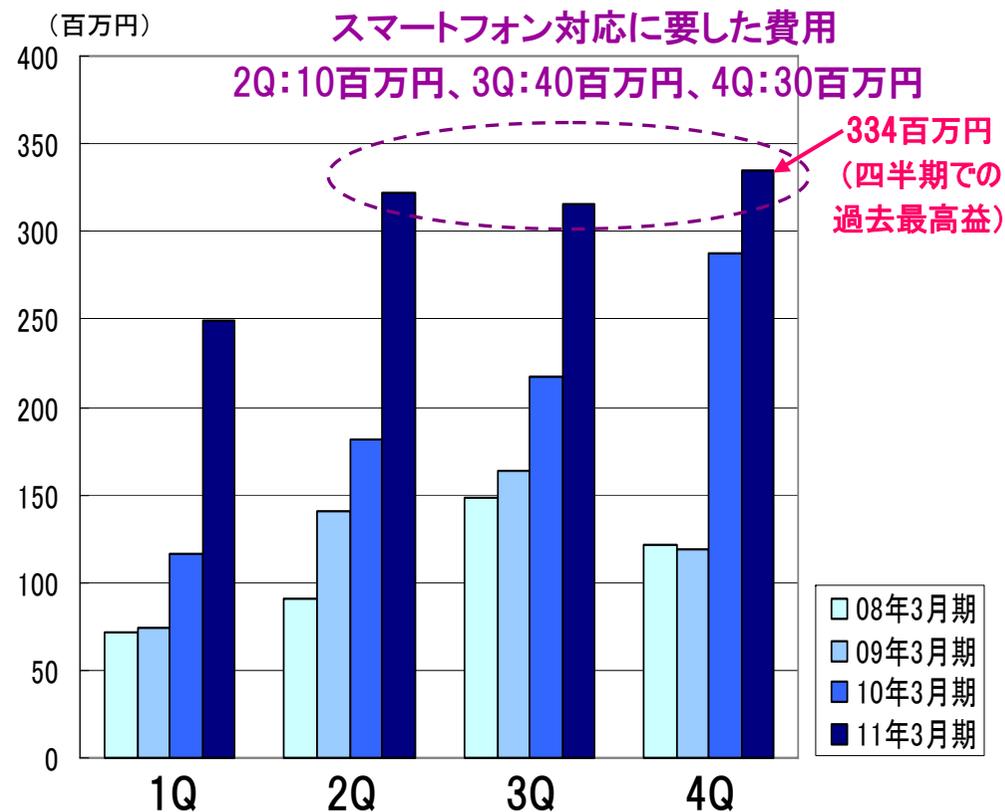
中間期での修正のポイント

- ・上期の粗利益率が期初の計画より高くなったため、上期の利益の実績値が期初予想を上回った。
- ・実績値が上期の予想数値を上回った差分を考慮して、通期の業績予想を修正。
- ・下期において計上する見込みの利益の額については、下期においてスマートフォン対応を期初の計画以上に推進するため、期初の予想数値を据え置いた。

売上高



営業利益



※2008年3月期と2009年3月期については、連結除外となったORICON CNS Inc. とフランクリン・ミント株式会社の数値を除いております。

セグメント別売上高



(単位:百万円)	2010年3月期	2011年3月期	増減	
			金額	増減率
WEB事業	918	1,042	124	13.5%
モバイル事業	3,010	3,660	651	21.6%
着メロ	528	450	▲78	▲14.8%
着うた	510	493	▲17	▲3.4%
着うたフル	1,813	2,572	759	41.9%
情報系など	159	146	▲13	▲8.0%
雑誌事業	1,439	1,433	▲6	▲0.4%
データサービス事業	596	648	52	8.6%
その他	106	7	▲99	▲93.6%
売上高合計	6,069	6,790	721	11.9%

※百万円未満を切捨てて表示しております。

※2011年3月期より適用した「セグメント情報等に関する会計基準」に準拠した新たなセグメントで区分しております。

2010年3月期についても新たなセグメントに組み替えて算出した数値になっております。

連結貸借対照表



(単位:百万円)	2010年3月期末	2011年3月期末	増減
資産合計	4,672	5,060	388
流動資産	2,618	2,802	183
有形固定資産	325	315	▲9
無形固定資産	855	1,006	150
投資その他の資産	868	929	61
繰延資産	4	6	1
負債合計	3,289	2,890	▲398
流動負債	2,220	1,793	▲427
固定負債	1,068	1,097	29
純資産合計	1,383	2,169	786
株主資本	1,044	1,865	820
その他の包括利益累計額	▲14	▲17	▲2
新株予約権	12	▲5	▲18
少数株主持分	340	326	▲13

- 無形固定資産の増加は、(株)oricon MEの株式を買い戻し、のれんが増加したことが主な要因。
- 投資その他の資産の増加は、(株)ベストクリエイトとの業務提携に伴い、同社の株式を保有したことが主な要因。
- 自己資本比率が、22.0%から36.5%に上昇(14.5ポイントの上昇)。

(単位:百万円)	2010年3月期	2011年3月期	前年同期比 増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	879	857	▲22
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲775	▲564	210
財務活動によるキャッシュ・フロー	336	▲452	▲788
現金及び現金同等物の増減額	440	▲159	▲600
現金及び現金同等物の期首残高	456	897	440
現金及び現金同等物の期末残高	897	737	▲159

■営業活動によるキャッシュ・フロー

2011年3月期は、前期と比べて、税金等調整前当期純利益の額が増加したが、法人税等の支払額も増加

■投資活動によるキャッシュ・フロー

2011年3月期においては、業務提携に伴う(株)ベストクリエイトの株式の取得、および(株)oricon MEの株式の買戻しによって資金が減少

■財務活動によるキャッシュ・フロー

2011年3月期においては、借入金の返済によって、資金が減少

■キャッシュ・フロー対有利子負債比率が、前期の2.5年から2.0年に短縮

2012年3月期の見通し

連結業績予想



	上期			下期			通期		
	2011. 3 (実績)	2012. 3 (計画)	増減率	2011. 3 (実績)	2012. 3 (計画)	増減率	2011. 3 (実績)	2012. 3 (計画)	増減率
売上高	3,330	3,340	0.3%	3,460	3,720	7.5%	6,790	7,060	4.0%
営業利益	573	460	▲19.7%	649	790	21.7%	1,222	1,250	2.3%
経常利益	548	410	▲25.2%	598	750	25.4%	1,146	1,160	1.2%
当期(四半期) 純利益	366	230	▲37.2%	430	430	0%	796	660	▲17.1%

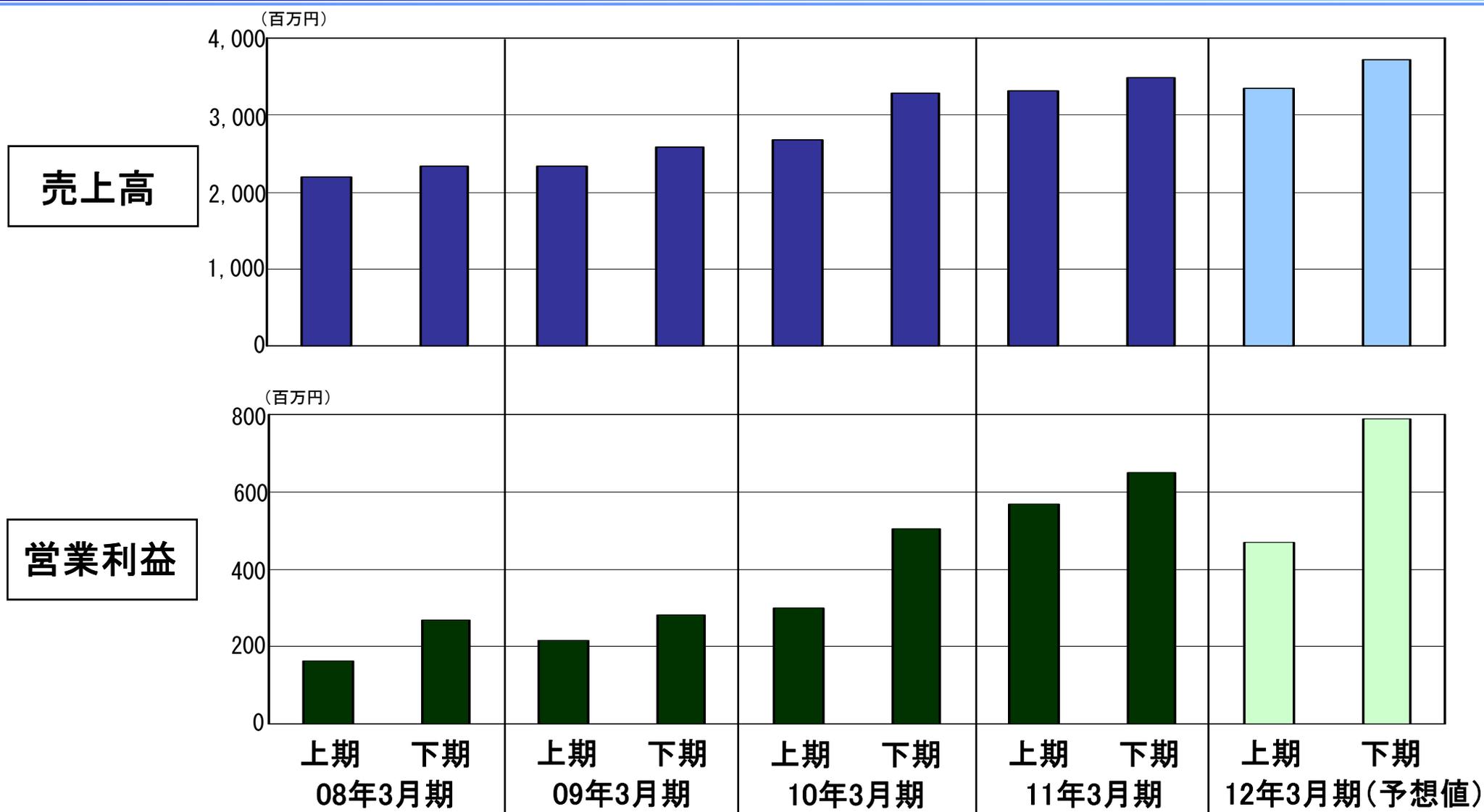
- スマートフォン向けビジネス、キャンペーンに依存している広告販売などに、震災の影響が及ぶことを極力考慮。
- 上期については、売上高は前年同期並みながら、スマートフォン向けビジネスの費用が先行するため、営業利益は、前年同期と比べ減益となる見通し。
- 下期よりスマートフォン向けの各事業が本格的に立ち上がり、これらの収益が前年同期の業績に上積みされる見通し。ただし、不確実な要素の多い売上については期初の計画には含めず、確度が高くなった状況において、見直しを行う。
- CSランキング連動型広告は、期を通して前年同期を上回る状況で推移する見通し。下期にはキャンペーン型広告も回復するものと見込む。例年、年末年始にエンタメ業界が活況になるため、当社グループの業績には下期偏重の季節性あり。
- 前期(2011年3月期)までは税効果会計の適用により、税務上発生した繰越欠損金が税金費用を抑えていた。しかし、前期末で課税所得と相殺可能な繰越欠損金がなくなり、次期(2012年3月期)においては法定実効税率並みになる見通し。これによって、営業利益、経常利益は増益ながら、当期(四半期)純利益は減益になる見込み。

セグメント別売上高の予想値



(単位:百万円)	上期			下期			通期		
	2011. 3 (実績)	2012. 3 (計画)	増減額	2011. 3 (実績)	2012. 3 (計画)	増減額	2011. 3 (実績)	2012. 3 (計画)	増減額
WEB事業	488	524	36	554	640	86	1,042	1,164	122
モバイル事業	1,828	1,787	▲41	1,832	1,910	78	3,660	3,697	37
着メロ	232	194	▲38	218	175	▲43	450	369	▲81
着うた	259	204	▲55	234	186	▲48	493	390	▲103
着うたフル	1,261	1,293	32	1,311	1,373	62	2,572	2,666	94
情報系	75	65	▲10	71	63	▲8	146	128	▲18
スマホ関連	0	32	32	0	113	113	0	145	145
雑誌事業	698	684	▲14	735	798	63	1,433	1,482	49
データサービス事業	310	340	30	338	374	36	648	714	66
その他	4	5	1	3	0	▲3	7	5	▲2
売上高合計	3,330	3,340	10	3,460	3,720	260	6,790	7,060	270

連結業績の推移(見通しを含む)



※連結除外となったORICON CNS INC.とフランクリン・ミント社、及びその他事業に関わる数値を除いて集計。

配 当

2011年3月期: 収益を伸ばし、期末の個別業績において繰越損失を解消。利益配分可能な利益が得られたため、期末配当として1株につき800円の配当(復配)。<配当性向:15.9%>

2012年3月期: 業績見通し、並びに株主還元の充実と内部留保の確保とを総合的に勘案し、期末配当金を据え置き、1株につき800円の配当を予定。<配当性向(予想):19.1%>

自己株式の取得

2011年5月18日開催の取締役会で自己株式取得に係る事項を決議

取得する株式の総数 : 2,000株を上限とする

(2008年6月20日付で自己株式を消却したため、現在保有している自己株式はありません。)

取得価額の総額 : 100百万円を上限とする

取得期間 : 2011年5月19日～2011年9月30日

オリコングループのスマートフォン戦略について

- (1)** スマートフォン向け音楽配信サービスでトップクラスの
ポジションを獲得する
⇒音楽配信サービス「オリコンスタイル」
- (2)** スマートフォンにおける広告メディアとして、アプリを
ダウンロードさせるNo.1のメディアになる
⇒「オリコンアプリランキング」
- (3)** 最大の閲覧者数を擁する無料の電子書籍を提供する
⇒「オリ★スタ」アプリ

2011年5月18日付 News Release

GALAXY S II (サムスン電子社製スマートフォン)に オリコンの音楽配信サービスアプリがプリインストール — サムスングループとオリコングループが 音楽配信サービスにおいて連携を開始 —

※GALAXY S IIは、NTTドコモより6月下旬発売予定(2011年5月16日 NTTドコモ発表)

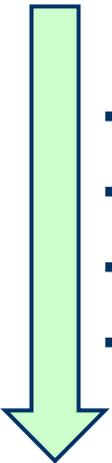
※GALAXY S IIにプリインストールされる音楽配信アプリは「オリコンスタイル」アプリのみ

⇒他の端末メーカーともプリインストールについて交渉中

(1) 音楽配信サービス ②



2010年9月 Android携帯電話向けに「オリコンスタイル」アプリの提供を開始し、
音楽配信サービスをスタート（当初は、Xperia SO-01Bの1機種のみに対応）

- 
- ・対応機種を増やすべく、各種DRMに対応するシステムを開発
 - ・ユーザーインターフェースの改良
 - ・プリインストールについて端末メーカー各社と交渉
 - ・配信許諾を得るため、レコードレーベルと交渉

2011年度(2012年3月期)

- ☆当社サービスの対応機種が大幅に増加
- ☆今年度、Android携帯電話の販売台数が1,000万台を超える見込み(発売時期遅れが一部に発生)
- ☆GALAXY S IIなどの新機種へのプリインストール
- ☆配信楽曲を拡充
- ☆集客導線を強化(無料電子書籍「オリ★スタ」からの誘導をスタート)

⇒下期より収益貢献を開始する見通し

当社グループの音楽配信サービスの主な優位性 (他社にないユニークな集客導線)

- Google検索結果の上位表示を既に獲得
- 当社グループがインターネット向けに発信しているエンタテインメント系ニュースからユーザーを誘導
- 無料電子書籍「オリ★スタ」からユーザーを誘導

(1) 音楽配信サービス ④



Googleの検索結果で当社グループのサイトが
上位表示される検索ワード(抜粋)

<調査日:2011年5月15日>

検索ワード(順不同)	Googleの検索結果
AAA	9
B'z	6
EXILE	6
GReeeeN	7
L'Arc~en~Ciel	10
RADWIMPS	9
SPEED	7
aiko	9
flumpool	9
mr.children	10
いきものがかり	9
アンジェラ・アキ	7
コブクロ	7
安室奈美恵	9
倅田来未	8
水森かおり	9
清水翔太	9
川中美幸	7
徳永英明	9
浜崎あゆみ	7
嵐	9

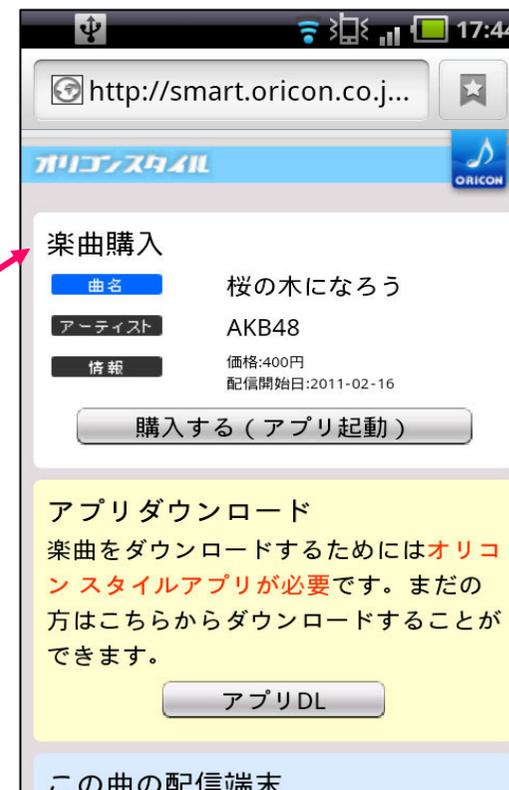
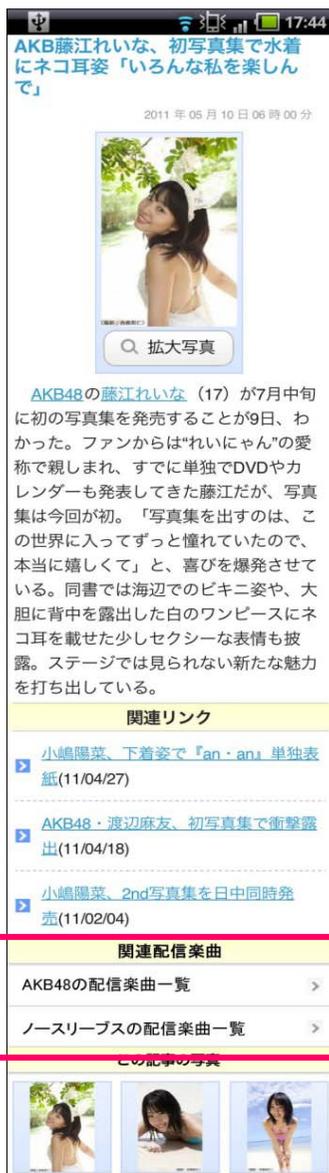
Googleの検索結果で上位表示される要因(当社推測)

- ・当社グループが長年にわたってPC向けの「ORICON STYLE」サイトを運営し、エンタテインメント系ニュースを毎日、数多く掲載していること
- ・当社グループのエンタテインメント系ニュースを「Yahoo!JAPAN」などの外部サイトに提供し、「ORICON STYLE」サイトへの被リンクの数が多なこと

⇒これまで3G携帯電話(フィーチャーフォン)向けのみでサービスを行ってきた配信事業者が、一朝一夕で成しえることではありません。

Googleの検索結果が表示されたページにおいても「オリコン」が含まれることで、他のサイトよりクリックされる頻度が高くなるものと推測。すでに「着うたフル」の公式メニューリストなどでクリックの頻度が高いことは実証済み。「オリコン」ブランドの効果)

(1) 音楽配信サービス ⑤



ニュースをみて興味関心を持ったユーザーを当社グループの音楽配信サービスに誘導し、効率良く、楽曲のダウンロードに結び付けてまいります。

(1) 音楽配信サービス ⑥



効率良く楽曲をダウンロード（会員化）

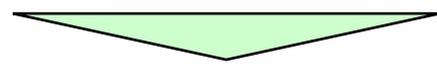
⇒Android携帯電話向け音楽配信サービスでトップクラスを目指します

スマートフォンユーザー調査(当社自主調査)

〈調査時期:2010年12月、n=107名〉

Q:スマートフォンを持つ前、フィーチャーフォンで音楽を聴いていましたか？ ⇒「はい」:22.4%

Q:スマートフォンで音楽を聴いていますか？ ⇒「はい」:59.8%



「フィーチャーフォンで音楽を聴かなかった人がスマートフォンでは音楽を聴くようになっている。」



スマートフォンでの音楽配信市場は、着うた&着うたフルの市場より大きくなる可能性がある。

当社グループでは、様々なメディア活動を通して、Android携帯電話の幅広いユーザーに対して、Android携帯電話に音楽を手軽にダウンロードして聴く魅力を伝え、Android携帯電話における音楽配信市場を創造し、活性化させてまいります。

(2) スマートフォンユーザー5万人が選んだ オリコン **アプリ** ランキング ①



「 iPhoneではApp Store、Android携帯電話ではAndroid Marketにアプリが多数、並んでいるが、どのアプリが自分に有用なのか良くわからない 」 (いわゆる “カオス” 状態)

この状態を可視化する社会的ニーズがあると確信し、スマートフォンユーザー5万人を対象とした大規模な満足度調査を実施

調査結果に基づいた「オリコンアプリランキング」(全32カテゴリー)を発表し、PC向け「オリコンアプリランキング」サイトを新設 [2010年12月28日]。スマートフォンで最適化されて表示され、ランキングからアプリのダウンロードに誘導。

ユーザーの利便性を向上させるため、「オリコンアプリランキング」のアプリを提供開始
[Android携帯電話向け：2011年2月1日～、iPhone向け：2011年5月10日～]
※Android携帯電話向けアプリは、すでにダウンロード数が10万超

新着アプリに対応し、更新頻度を高めるため、「週間新着アプリ満足度ランキング」の提供を開始[2011年3月28日]

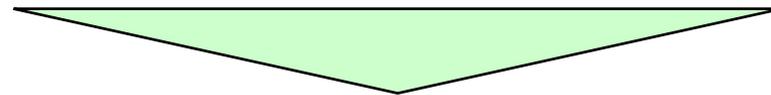
端末メーカー各社と「オリコンアプリランキング」のアプリのプリインストールについて交渉

企業側ニーズ

“スマートフォンユーザーを自社のサイトに誘導したい”
“スマートフォンユーザーの会員獲得を行いたい”



スマートフォンに企業のアプリを
ダウンロードさせることが広告に
求められる機能



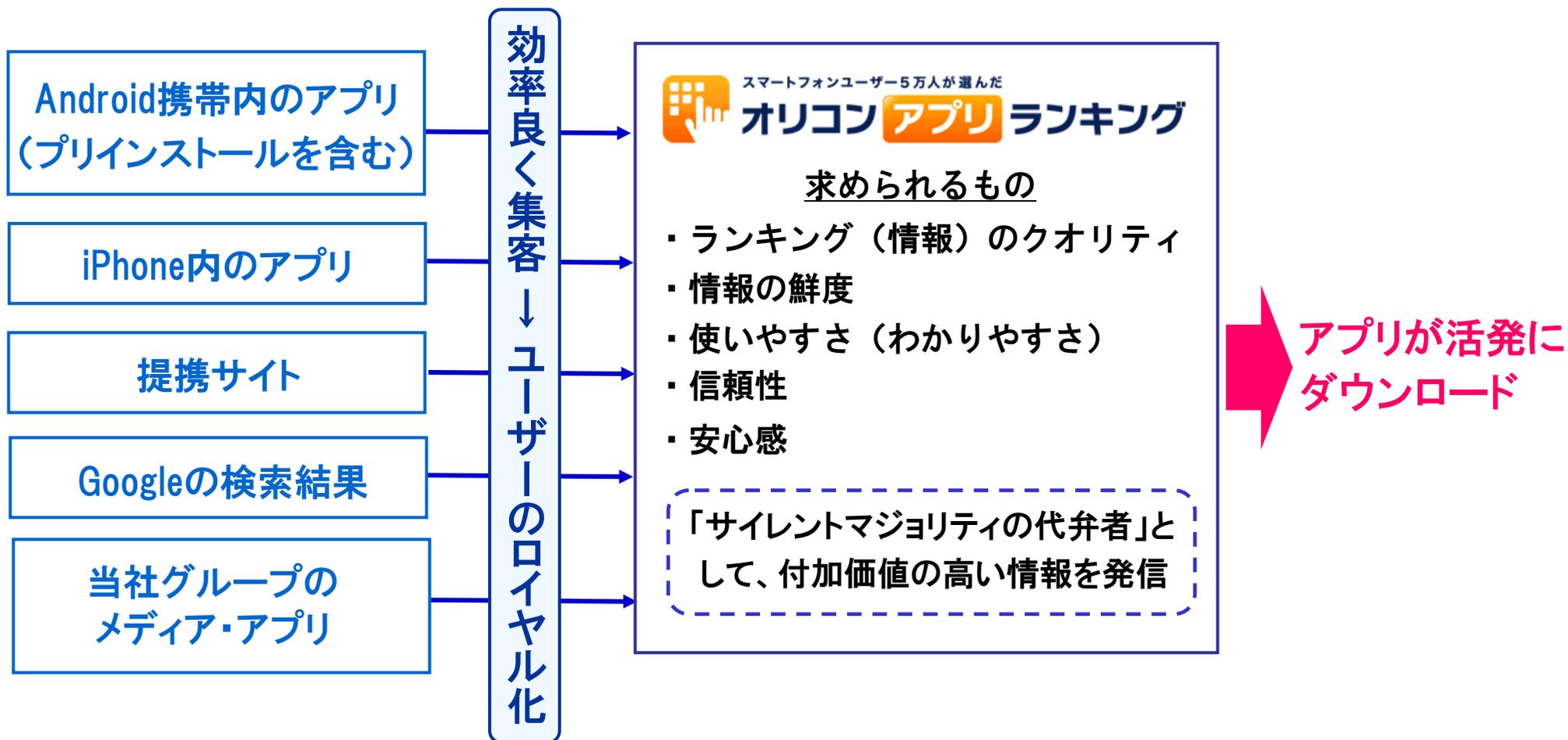
当社グループでは、

スマートフォンにおける広告メディアとしての勝者は、アプリを最も効率良くダウンロードさせることのできるメディア

だと考えました。

⇒ “アプリをダウンロードさせるNo.1のメディア” を目指し、「オリコンアプリランキング」への導線を強化。ランキングを拡充。

⇒ 現在、「オリコンアプリランキング」を經由して、毎日、5,000～7,000個のアプリがダウンロードされている状況。



(3) 無料電子書籍「オリ★スタ」①



一般向け週刊エンタテインメント誌
「オリ★スタ」

20代前半の女性をターゲット

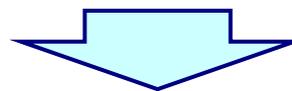
女性に人気のあるトップクラスのアーティストの
質の高い写真や記事を掲載

当社グループのPCサイトやモバイルサイトを活用して
無料で情報公開を行い、有料購読に誘導する「フリーミアム戦略」も
部数増に寄与

⇒購読売上が、前期と比べ16.8%増加

(参考)2011年5月16日付文教堂「総合週刊誌ランキング」7位

2011年5月15日付TSUTAYA「週刊誌ランキング」8位



電子書籍版の開発に着手。2010年10月から11月にか
けてNTTドコモが実施した「電子書籍のトライアル
サービス」にコンテンツ提供

当電子書籍をアプリ化して無料で提供するための
システムを開発

(3) 無料電子書籍「オリ★スタ」②



「オリ★スタ」アプリのトップページイメージ

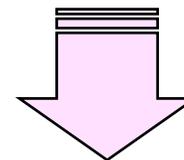
- 日々の閲覧を促すコンテンツが豊富に掲載
- コンテンツの更新も頻繁に実施

ユーザーが能動的にアプリに接触する頻度が非常に高い

スマートフォン(Android携帯電話およびiPhone)向けの「オリ★スタ」アプリを5月中に無料提供開始予定(タブレットPC向けのアプリも開発中)

+

今夏発売のAndroid携帯電話の新機種に「オリ★スタ」アプリがプリインストールされる予定



国内で最大の閲覧者数を擁する電子書籍に成長させてまいります。

広告メディアとしての価値を高めリーチコストが低く、かつターゲットを絞り込んだ付加価値の高い広告商品を販売

この資料に掲載されている今後の戦略・見通し等に関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測しえないような特別事情の発生または通常予測しえないような結果の発生等により、本資料記載の見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の見通し等のみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

- ※ iPhone、App Storeは、Apple Inc. の商標または登録商標です。
- ※ Android、Android Marketは、Google Inc. の商標または登録商標です。
- ※ 着うた、着うたフルは、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。
- ※ Xperiaは、Sony Ericsson Mobile Communications ABの商標または登録商標です。
- ※ その他記載されている製品名、サービス名などは、該当する各社の商標または登録商標です。

オリコン株式会社

IR用ホームページ

<http://www.oricon.jp/>